

別紙（容器）

供給設備の技術上の基準

（容器による貯蔵能力が1,000Kg以上3,000Kg未満のものに限る）

<p>1 保安距離</p>	<p>第1種保安距離（法定 m・障壁設置 m）実際距離 m 保安物件の名称 第2種保安距離（法定 m・障壁設置 m）実際距離 m 保安物件の名称</p>
<p>2 障壁</p>	<p>障壁の構造 材料 寸法（高さ） cm（厚さ） cm 扉の構造 材料 （厚さ） cm 扉の補強 等辺山形鋼（枠） mm × mm （内） mm × mm 間隔 （縦） cm（横） cm</p>
<p>3 火気取扱施設との距離</p>	<p>火気等の種類 火気等との距離 m 火気距離 障壁（材料） 高さ m</p>
<p>4 滞留防止</p>	<p>貯蔵設備面積 m² 法定換気口面積 cm² 実際の換気口面積 cm²</p>
<p>5 さく、へい等の設置</p>	<p>さく、へい等の種類</p>
<p>6 警戒標</p>	<p>掲示位置 表示内容</p>
<p>7 消火設備</p>	<p>粉末消火器 その他</p>
<p>8 軽量の屋根等</p>	<p>屋根の場合 その材料 遮へい板の場合 その材料</p>
<p>9 転倒防止等の措置</p>	
<p>10 腐食防止措置</p>	